

3.商品需要予測のためのデータ分析

実習内容	【実習内容】 日本気象協会では、製造・小売業などの売上実績データと気象データを分析し、気象予測から売上の予測を行う商品需要予測サービスを行っています。 このコースでは、実際に気象データと売上データ(POS データ)の分析を行い簡易の需要予測モデルを作成することで、消費者の購買行動と気象の関係性に関する見識を高めると同時に、気象データのビジネス活用可能性についての洞察力を磨きます。 最終日には成果発表会を実施し職員からフィードバックを行います。 【スケジュール例】 1 日目 ・オリエンテーション、気象 DX 事業部の紹介 ・気象と売上データの分析 1 - 気象データと売上データ(※)の収集・整理を行い、分析テーマとする商品カテゴリを選定します。 ※業務連携している大手データ会社から提供を受けている POS データ(日用消費財)の取扱いが可能です。 - 商品カテゴリの例:アイスクリーム、スポーツドリンク、制汗剤、日焼け止め…etc 2 日目～4 日目 ・気象と売上データの分析 2 - 選定した商品カテゴリの売上データと気象との関係性分析を実施し、気象によって異なる売上の傾向を把握します。 - 例:時系列分析、散布図分析、相関分析 ・気象と売上データの分析 3 - 進捗に応じて、関係性分析の結果を踏まえて需要予測モデルの作成に着手します。並行して、「気象データのビジネス活用」の観点で業務指導者と最終発表に向けたアイデアを出し合います。 ・気象データの分析 4 - 需要予測モデルの作成・モデル精度向上のための工夫などを行います。関係性分析や需要予測モデル構築の結果を踏まえて、最終発表に向けたアウトプットを作成します。 - 例:春シーズン〇〇市場予測、XX 立ち上がり前線、△△売上指数ランキング 5 日目 ・資料作成、考察、成果発表会、懇親会 ※実習内容詳細はご本人のスキルや関心に応じて調整します。 ※最終日の成果発表会は全コース合同で実施します。
開催場所	本社(池袋)
開催日程	2026 年 2 月 2 日(月)～6 日(金) ※連続 5 日間、各日 9:15～17:15(内昼休憩 60 分)で開催

参加条件	2027 年卒以上の学生(大学 3 年生、修士 1 年生など) 【歓迎するスキル/経験(任意)】 統計、機械学習、Python、Linux、データ分析など
報酬	無給(賃金等の報酬はありません)
交通費	支給あり 通勤交通費 (自宅または宿泊先最寄駅から当協会最寄駅までの往復運賃)(上限 3 万円/月) ※遠方から参加される場合は、初日および最終日における自宅から宿泊先までの往復運賃を、社内規定に基づき別途支給いたします。
宿泊費	支給あり 宿泊費支給/1 泊あたり一律 9,700 円 ※遠方から参加される場合に限り、宿泊費を社内規定に基づき支給いたします。
保険加入	必要あり(ご自身の負担) 本インターンシップに適用される災害補償保険および賠償責任保険には、参加者ご自身で手配のうえ、加入していただく必要があります。 ※参加が確定した後、保険加入証の写しをご提出いただきます。
その他	・昼食代支給/1 日あたり一律 1,000 円 ・現場実習(外出)を行った場合は、現場実習先(外出先)までにかかる交通費を支給
参加確定後の提出書類	・学生証写し ・本インターンシップが適用となる災害補償保険及び賠償責任保険の加入証の写し ※上記の他、提出書類あり。詳細は参加確定者にご案内します。
エントリー方法	マイナビ2027または当協会マイページよりお願いします ※応募方法詳細は、募集案内本文をご参照ください。 ▼マイナビ2027 https://job.mynavi.jp/27/pc/search/corp111884/outline.html ▼当協会マイページ(「日本気象協会 採用マイページ 2027 卒対象」) https://mypage.3010.i-webs.jp/jwa2027/